

平成30年4月27日

助成事業実施報告書

団体名.....特定非営利活動法人 緑の大地会
代表者・役職名 氏名 理事長 浅見 芳雄.....

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

多摩 森の子カラ PART3

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2007年月、都市開発に伴う首都圏近郊地の不健全状況の改善を図るべく、剪定枝等の木質系資源の再利用を通して豊かな緑の再生のため、植木造園関係者を中心にNPOを設立しました。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

自然と共に生きていくと実感できる事業を目指し、地元の養護施設生徒向けに本プロジェクトを取り上げました。
里山や圃場での活動を通し、安全安心で健康的な社会の次代に人づくりを目指しております。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

実施日の3ヵ月ほど前から、本会会員の所有する八王子市堀之内にある里山(通称名:堀山)面積9,000坪の一部を憩いの場として整備、遊歩道・休憩所・ツリークライミング実施場所を確保いたしました。ツリークライミング当日には、指導員の指導の下、参加者全員がツリークライミングを体験しました。大木である榎の木の周りでどんぐり採取などをいたしました。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

取り巻く環境に積極的に関心を示さことの少ない生徒たちに対し、日頃より農作物の栽培やお菓子作りなどに取り組む教育を行っている当該養護施設のご協力で、ツリークライミングという一種のサバイバル体験をすることで、自然への眼差しに生き生きとした反応がみられました。今回で3回目となりましたが、ようやく定着が図れつつあります。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

本年度は開催日時が12月にづれ込み寒い中での実施となりました。
天候には恵まれなかったものの、近隣の保育園児のギャラリー参加もあり、関係者の方々のご協力で事故も無く終了することができました。今後は、ツリークライミング指導者の育成も視野に入りたいと考えております。多くの地域住民の参加を得て、本プロジェクトへの理解が進むことを願っております。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

森と遊ぼう 楽しさ全開。



草刈/遊歩道・園地整備/ツリークライミング/自然観察/

2017年12月15日(金) 午前10時～
堰山(東京都 八王子市 堀之内)
費用 500円(おひとり)

特定非営利活動法人 緑の大地会